

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



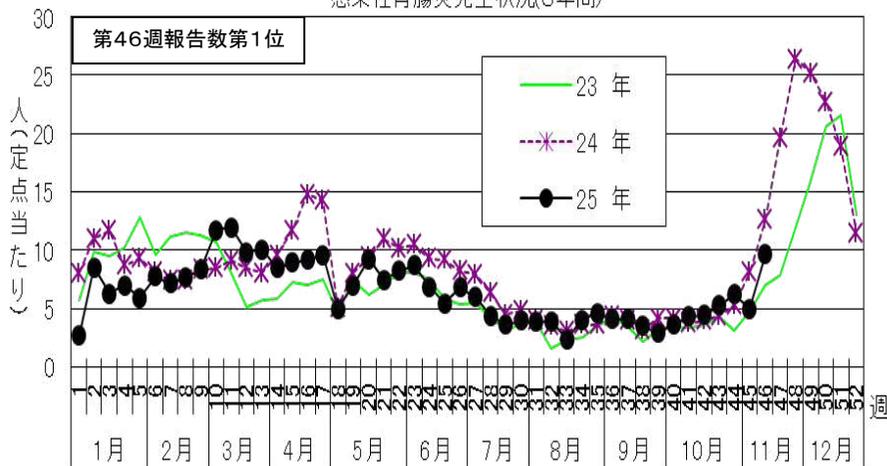
平成25年11月11日(月)～11月17日(日)〔平成25年第46週〕の感染症発生状況

第46週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘 でした。

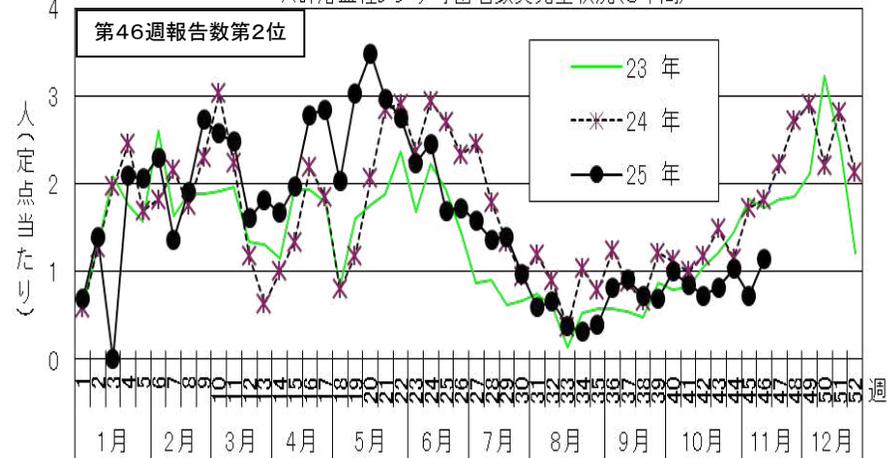
感染性胃腸炎は定点当たり9.64人と前週(5.00)より患者報告数は増加しており、12月に向けて急激な増加が推測されます。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.15人と前週(0.73)より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



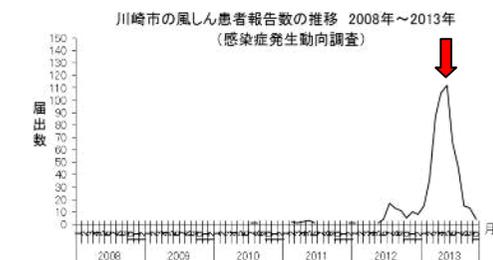
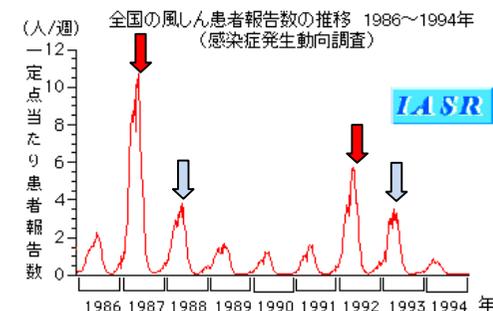
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成～実施期間再延長～

風しんは、例年春に流行する傾向があります。また、大きな流行のあった翌年も例年より高いレベルで流行する傾向がありますので、平成26年も引き続き風しんには注意が必要です。

川崎市では、11月30日までとしていた麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成期間を平成26年3月31日まで延長します。まだ接種を受けていない方は、是非この期間にワクチンの接種をご検討ください。



### 事業の対象者

※接種費用は2,000円程度です。

川崎市民で、原則として風しんにかかったことがなく、予防接種を受けたことがない方で次のいずれかに該当する方

- ア 妊娠している女性の夫(児の父親)
- イ 23～39歳の男性  
(昭和49年4月2日～平成2年4月1日生まれ)
- ウ 23歳以上の妊娠を予定又は希望している女性  
(平成2年4月1日以前生まれ)

平成25年10月までに20,026名の方が本事業によりワクチンを接種しています。

免疫のない女性が妊娠中に風しんに感染すると、先天性心疾患、難聴、白内障などの症状が現れる「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる可能性があります。

妊娠中の方は接種ができません。また、女性は接種後2か月間は避妊する必要があります。



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター(保健所)  
(問い合わせ先)健康安全研究所: 044-276-8250 (麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成に関するものを除く)  
※麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成に関するものは各区役所保健福祉センター地域保健福祉課へ御連絡ください。